

2010年7月14日

FSC-FM グループ 美幌町森林組合 様

SGS ジャパン株式会社

主任審査員: 矢口 哲三 (監督チームメンバー)

審査員: 佐々木 彩 (実習チームリーダー)

FSC 森林管理 (グループ) 認証・更新審査結果報告

1. 結論

審査チームは、FSC の原則と基準に対し、適合していることを文書並びに現場で確認し、評価したが、特に大きな問題は発見されず、FSC-FM グループ 美幌町森林組合様の以下の認証範囲の FSC 森林管理認証 (グループ認証) の更新を推薦する；

Forest Management of the Bihoro Town Forest Owners' Co-operative group of plantations and secondary natural forests in Bihoro town, Hokkaido of Japan for the production of softwood and hardwood timber

針葉樹及び広葉樹材の生産のための北海道美幌町の美幌町森林組合グループの人工林及び二次林を対象とした森林管理

(認証番号: SGS-FM/COC-002300、有効期間 2010.10.12 より 5 年間、認証登録書再発行)

参考: (現行)

Group forest certification of Bihoro Town Forest Owners' Co-operative of plantations and secondary natural forests in Bihoro town, Hokkaido

美幌町森林組合による、北海道美幌町内の人工林及び二次林を対象としたグループ森林管理認証 (SGS-FM/COC-2300、有効期限 2010.10.11)

2. 不適合の有無

- (1) 前回維持審査にて発行された不適合はなかった。
- (2) 重大及び軽微な不適合は発見されなかった。

3. 評価及び期待される観察事項

- (1) 認証更新にあたり、認証面積拡大が図られ、FSC 認証の一層の普及が図られたことは 5 年を越える美幌町森林組合及び美幌町の努力の成果であり、高く評価される。
- (2) 木材以外の新たな林産物として収穫・間伐施業で発生する枝条などから製造する燃料用木質ペレットを開発し、地域に新しい雇用と産業を創出しようとしている点は高く評価され、今後の成果が期待される。

4. 観察/確認事項

- (1) (規準 6.5 指標 1) 環境に影響を及ぼす恐れのある施業を特定し、施業実施時の留意事項を規定する必要がある。森林環境に関するガイドラインで急傾斜地 45 度以上、水系付近のバッファゾーン

として常水から 10m の規定があるが、季節的に水が流れる場所の分類や、それぞれの保護すべき区域における施業方法をより具体的にするなど改善の余地がある。

- (2) (規準 6.1 指標 1) 森林管理において施業が及ぼす環境への影響を評価する必要がある。現在使用されている「環境影響評価表」で一定の評価は実施されているが、急傾斜地、配慮すべき季節的に水が流れる場所、食害などの有無を特定するなど検討の余地がある。

以上